

群馬県伊勢崎地域における感染管理活動

三ツ倉裕子¹⁾ 後藤恵²⁾ 柴草仁志²⁾ 樋口和子³⁾ 小野寺真知子⁴⁾ 大野雅志¹⁾
齋藤真一⁵⁾ 福島光穂⁶⁾ 塩ノ谷明彦²⁾ 新井裕子²⁾

1) 美原記念病院 2) 伊勢崎市民病院 3) 石井病院 4) 福島病院 5) 伊勢崎佐波医師会病院
6) 原病院

【はじめに】伊勢崎感染対策カンファレンス（以下 IICC）は平成 24 年の診療報酬改定を機に群馬県伊勢崎地域の感染防止策の推進を図ることを目的に活動を開始した。今回、5 年の活動をまとめ報告する。

【活動内容】平成 24 年度 5 病院（加算 1：1、加算 2：4 病院）と保健福祉事務所で活動を開始、現在は加算算定をしていない 2 病院も加わった。定例カンファレンスは年 5 回開催、各施設での耐性菌の検出や抗菌薬使用、感染予防策の実施状況などの情報共有を行っている。また、アンチバイオグラムの結果を基に抗菌薬適正使用の提言を、地域の医療機関に行った。平成 26 年からワーキング活動を毎月行い、自施設の問題共有と地域の施設に向けた研修や IICC の相互ラウンドを行い、環境や PPE の使用状況や直接観察法を行っている。

【結果・考察】毎月の活動により施設で共通する問題を地域で解決することができるようになった。相互ラウンドは毎年訪問先を変えることで、チェックする側の視点が変わり施設内の問題が明確になった。また、それぞれの病院での工夫を実際に見ることで自施設の問題の解決つながることもあった。他施設職員による直接観察を行ったことにより手指衛生の向上につながっている。加算算定にとらわれず地域内の感染管理ネットワークを構築したことにより、地域としての感染管理の質の向上につながったと考える。